



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名 日野自動車株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 7205 URL <http://www.hino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白井 芳夫

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部 広報渉外室長 (氏名) 上野 仁

TEL 042-586-5494

四半期報告書提出予定日 平成23年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (マスコミ・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	232,597	△21.0	4,591	△47.1	3,772	△47.0	△4,885	—
23年3月期第1四半期	294,539	77.9	8,679	—	7,117	—	3,108	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △5,011百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,057百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△8.57	—
23年3月期第1四半期	5.44	5.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	710,619	207,770	26.0
23年3月期	722,145	216,438	26.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 184,768百万円 23年3月期 191,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では、平成24年3月期配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	560,000	△7.5	11,000	△33.0	9,000	△33.3	△3,000	—	△5.26
通期	1,350,000	8.6	35,000	21.1	31,000	23.7	12,000	—	21.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年5月10日に公表いたしました「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を未定としておりましたが、本資料において公表しております。本日(平成23年7月26日)公表の「業績予想(第2四半期連結累計期間)に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年6月14日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」から修正しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	574,580,850 株	23年3月期	574,580,850 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	4,685,025 株	23年3月期	4,683,083 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	569,896,306 株	23年3月期1Q	571,204,538 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
4. 補足情報	P. 8
(1) 生産実績	P. 8
(2) 売上実績	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内普通トラック(大型・中型トラック)市場につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響等により総需要は7千台と前年同四半期に比べ6千台($\Delta 47.0\%$)減少いたしました。また、小型トラック市場におきましても、総需要は9千台と前年同四半期に比べ2千台($\Delta 20.7\%$)減少いたしました。

国内売上台数につきましては、東日本大震災の影響による部品供給問題等を原因とした生産台数の減少により、トラック・バス総合計で5千台と前年同四半期に比べ1千台($\Delta 16.7\%$)減少いたしました。

海外市場につきましても、生産台数の減少により、トラック・バスの売上台数は17千台と前年同四半期に比べ2千台($\Delta 10.1\%$)減少いたしました。

以上により、日野ブランド事業のトラック・バスの総売上台数は22千台となり、前年同四半期に比べ3千台($\Delta 11.7\%$)減少いたしました。

また、トヨタ向け車両台数につきましても、東日本大震災の影響等により「ランドクルーザープラド」の生産が減少した結果、総生産台数は22千台と前年同四半期に比べ17千台($\Delta 43.6\%$)減少いたしました。

以上により、売上高は2,325億97百万円と前年同四半期に比べ619億41百万円($\Delta 21.0\%$)の減収となりました。損益面におきましては、採算改善・原価低減活動に努めましたが、売上高の減少・材料費の高騰・為替円高等により営業利益は45億91百万円(前年同四半期に比べ40億87百万円の減益)、経常利益は37億72百万円(同33億44百万円の減益)となりました。また、東日本大震災による災害損失を特別損失に61億円計上したこと等により、四半期純損失は48億85百万円(同79億93百万円の減益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前年度末に比べ115億25百万円減少し、7,106億19百万円となりました。これは、国内トラック・バスの売上台数が前年度末に比べ少ないため売掛債権が73億65百万円減少したこと及び有形固定資産が42億84百万円減少したこと等によります。

負債につきましては、前年度末に比べ28億57百万円減少し、5,028億48百万円となりました。これは、有利子負債が15億6百万円増加した一方で、買掛債務が51億44百万円減少したこと等によります。

純資産につきましては、前年度末に比べ86億68百万円減少し、2,077億70百万円となりました。これは、剰余金の配当17億10百万円を行ったこと及び四半期純損失48億85百万円を計上したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、部品供給問題等により生産工場の稼働低下が続いておりましたが、今般サプライチェーンの復旧や今夏電力使用制限の対策に目処がたち、生産活動は正常化いたしました。今後の見通しにつきましては、国内トラック・バス市場は前期に比べ需要は回復すると予想され、海外のトラック・バス市場につきましてもアジアなどの新興国を中心に需要は堅調に推移すると見ております。

また、収益面におきましては、資源高による材料費の高騰や為替円高による減益が予想されますが、主に新型車の投入による増販や原価改善活動を推進することで増益を達成するべく努めてまいります。

以上により、当期の業績予想を以下の通りとしております。

(第2四半期連結累計期間の連結業績予想)

売上高	5,600 億円
営業利益	110 億円
国内トラック・バス販売台数	16.5 千台
海外トラック・バス販売台数	41.0 千台
トヨタ向け車両台数	57.8 千台

(通期の連結業績予想)

売上高	1兆3,500 億円
営業利益	350 億円
国内トラック・バス販売台数	34.8 千台
海外トラック・バス販売台数	93.0 千台
トヨタ向け車両台数	159.3 千台

平成23年5月10日に公表いたしました「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において平成24年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を未定としておりましたが、本資料において公表しております。本日(平成23年7月26日)公表の「業績予想(第2四半期連結累計期間)に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年6月14日に公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」から修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項**(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示****【会計方針の変更】**

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、5円44銭であります。

【追加情報】

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,929	18,328
受取手形及び売掛金	185,809	178,443
商品及び製品	48,400	60,282
仕掛品	26,169	24,815
原材料及び貯蔵品	19,952	23,814
その他	17,550	20,372
貸倒引当金	△2,909	△2,778
流動資産合計	328,901	323,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,999	87,657
機械装置及び運搬具(純額)	77,790	74,923
土地	90,363	90,198
その他(純額)	38,217	38,307
有形固定資産合計	295,371	291,087
無形固定資産		
	18,078	17,065
投資その他の資産		
投資有価証券	65,946	65,521
その他	18,889	18,637
貸倒引当金	△5,042	△4,972
投資その他の資産合計	79,793	79,186
固定資産合計	393,243	387,339
資産合計	722,145	710,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,268	159,124
短期借入金	68,239	64,738
コマーシャル・ペーパー	—	32,700
1年内返済予定の長期借入金	42,997	41,267
未払法人税等	4,189	3,852
製品保証引当金	12,452	12,556
その他の引当金	4,187	5,688
その他	50,817	51,582
流動負債合計	347,151	371,508
固定負債		
長期借入金	77,277	51,314
退職給付引当金	43,019	43,237
その他の引当金	1,880	1,498
その他	36,377	35,288
固定負債合計	158,554	131,339
負債合計	505,706	502,848

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	72,717	72,717
資本剰余金	64,327	64,327
利益剰余金	53,589	46,993
自己株式	△1,658	△1,659
株主資本合計	188,975	182,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,363	13,573
繰延ヘッジ損益	△40	△3
土地再評価差額金	1,560	1,560
為替換算調整勘定	△11,947	△12,741
その他の包括利益累計額合計	2,936	2,388
新株予約権	276	309
少数株主持分	24,249	22,693
純資産合計	216,438	207,770
負債純資産合計	722,145	710,619

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	294,539	232,597
売上原価	252,055	197,226
売上総利益	42,484	35,370
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	7,926	8,559
賞与引当金繰入額	897	944
退職給付引当金繰入額	691	736
その他	24,289	20,538
販売費及び一般管理費合計	33,804	30,778
営業利益	8,679	4,591
営業外収益		
受取利息	326	291
受取配当金	465	559
持分法による投資利益	136	—
雑収入	467	770
営業外収益合計	1,396	1,621
営業外費用		
支払利息	928	854
為替差損	1,681	621
持分法による投資損失	—	671
雑支出	349	293
営業外費用合計	2,958	2,441
経常利益	7,117	3,772
特別利益		
固定資産売却益	6	47
投資有価証券売却益	87	—
貸倒引当金戻入額	171	—
その他	282	12
特別利益合計	548	60
特別損失		
固定資産除売却損	186	117
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,090	—
災害による損失	—	6,100
その他	82	68
特別損失合計	1,359	6,286
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,305	△2,454
法人税、住民税及び事業税	2,282	2,315
法人税等調整額	△146	△631
法人税等合計	2,136	1,684
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	4,169	△4,138
少数株主利益	1,061	747
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,108	△4,885

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	4,169	△4,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,139	208
繰延ヘッジ損益	191	35
為替換算調整勘定	△3,030	△1,266
持分法適用会社に対する持分相当額	△248	148
その他の包括利益合計	△5,226	△873
四半期包括利益	△1,057	△5,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,638	△5,433
少数株主に係る四半期包括利益	581	421

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

区 分	前第1四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	対前年同四半期比
	台数	台数	
トラック・バス	26,660台	24,442台	△ 2,218台
受託車両	39,837台	22,465台	△ 17,372台

(2) 売上実績

区 分		前第1四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)		対前年同四半期比	
		台数	金額	台数	金額	台数	金額
		台	百万円	台	百万円	台	百万円
トラック・バス	国内	5,850	49,807	4,875	35,142	△ 975	△ 14,665
	海外	18,762	69,912	16,862	65,503	△ 1,900	△ 4,408
	海外生産用部品	—	336	—	750	—	413
トラック・バス計		24,612	120,055	21,737	101,396	△ 2,875	△ 18,659
トヨタ向け車両	車両	39,837	88,530	22,466	48,135	△ 17,371	△ 40,394
	海外生産用部品ほか	—	698	—	774	—	76
トヨタ向け車両計		39,837	89,229	22,466	48,910	△ 17,371	△ 40,318
補給部品	国内	—	11,325	—	11,166	—	△ 158
	海外	—	6,413	—	7,457	—	1,044
補給部品計		—	17,739	—	18,624	—	885
その他	国内	—	32,606	—	33,496	—	889
	海外	—	6,589	—	7,835	—	1,245
	トヨタ	—	28,318	—	22,335	—	△ 5,983
その他計		—	67,514	—	63,666	—	△ 3,848
総売上高		—	294,539	—	232,597	—	△ 61,941

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

2012年3月期 連結決算見通し参考資料

	前期実績 11年3月期 (10年4月1日～11年3月31日)		当期予想 12年3月期 (11年4月1日～12年3月31日)	
		対前年 実績		対前年 実績
生産台数	(千台)		(千台)	
	107.6	34.7%	142.1	32.1%
国	98.5	27.1%	130.0	32.1%
海	9.1	3.8倍	12.1	32.7%
内				
外				
販売台数	(千台)		(千台)	
	30.0	15.8%	34.8	16.0%
国	82.9	35.1%	93.0	12.2%
海	158.7	26.8%	159.3	0.4%
ト				
ヨ				
タ				
売上高	(億円)		(億円)	
	12,427	21.4%	13,500	8.6%
国	4,155	9.0%	4,500	8.3%
海	3,523	36.0%	4,200	19.2%
ト	4,749	23.9%	4,800	1.1%
ヨ				
タ				
営業利益 (利益率)	(億円) 289 (2.3%)	25.5倍	(億円) 350 (2.6%)	21.1%
経常利益 (利益率)	(億円) 251 (2.0%)	-	(億円) 310 (2.3%)	23.7%
当期純利益 (利益率)	(億円) △ 100 (△0.8%)	-	(億円) 120 (0.9%)	-
増減要因 (営業利益ベース)	(億円)		(億円)	
	《増益要因》		《増益要因》	
	販売面の影響	337	販売面の影響	320
	原価改善	187	原価改善	200
	《減益要因》		《減益要因》	
	環境面の変化	111	環境面の変化	260
	原価変動他	135	原価変動他	199
	計	278	計	61
業績評価	増収・増益		増収・増益	
設備投資	(億円)		(億円)	
	300		600	
(単 独)	(194)		(365)	
減価償却費	(億円)		(億円)	
	457		470	
(単 独)	(302)		(320)	
研究開発費	(億円)		(億円)	
	411		415	
為替レート	86円/US\$		80円/US\$	

(注) △は、損失または減少を示す。